

**差出人:** 猪狩 次夫  
**送信日時:** 2026年6月1日月曜日 11:13  
**宛先:** f.stu@f-kokyoso.org  
**件名:** 福島高教組第79回定期大会祝詞

**フラグの内容:** フラグを設定します  
**フラグ:** フラグあり

福島高教組第79回定期大会のご盛会祝し  
本県高校教育の充実と教職員の待遇改善のため  
益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます

2026年6月6日

猪 狩 次 夫

福島高教祖第七十九回定期大会の開催、誠におめでた  
うございませう。常日頃から組合員の皆様のご努力によるゆるぎない  
ご発展に對し心からの敬意を表します。見られ、今般の「教員の働き方改革」をめぐる状況にも  
厳しさを増していることと、皆様の働き方改革をめぐる状況にも  
非々のモットーの下、高校教育の充実発展のため、引き続き  
に、福島高教祖の今後ますますの躍進を祈念いたしま  
す。

令和八年六月六日

元日本高等学校教職員組合  
中央執行委員長 君島 整

福島県高等学校教職員組合  
執行委員長 鈴木 知洋 様

福島高教祖 第79回定期大会 おめでとうございます

社会環境はまっしぐらに平和から戦争に向かっているように感じています。

生徒達を戦場に送り数多の不幸を現実にした歴史を、今こそ直視しなければなりません。

その上で生徒達がのびのびと個性を発揮し、それぞれの未来を創り出す力が  
必要です。

そのためには先生方はじめ教育に携わる方々が安心して活躍できる環境が求  
められなければなりません。身近に悩んでいる方はいませんか。悩んでいる生  
徒・保護者の方はいませんか。

きめ細やかにそれぞれの悩みを解決・改善するためには、連携していくこと  
が必要です。

福島高教祖がますます発展し明るい職場を、生徒達を産み出すことを願って  
います。

2026年6月吉日

福島スクールソーシャルワーカー会員

立花正人

福島県高等学校教職員組合

執行委員長 鈴木 知洋 様

お祝い

福島高教組第79回定期大会の開催を祝し、心よりお喜び申し上げます。

常日頃、未来ある福島県の子供たちのために教育活動に尽力されている組合員の皆様と、教職員の待遇改善と福祉の向上及び教育環境の改善に奮闘されている組合役員の皆様に敬意を表しますとともに、定期大会の成功と貴組合の発展をお祈り申し上げます。

2026年6月6日

元執行委員長 吉田房雄

福島高教組第七十九回定期大会の開催、誠におめでとうございます。

さて「組合」と聞くと、法隆寺専属の著名な宮大工だった西岡常一氏、その著書の中の「木の癖組みは工人たちの心組み」、「建築は一人ではできませんのや。大勢の人間たちの力を結集して出来上がるもんなんです」といった言葉を連想します。それぞれ癖のある木材と職人たちをまとめる棟梁に向けた言葉です。教育もまさに然り。教育現場を建築に譬える当否はともかく、単独者志向の強い教員たちに反省を促す言葉になるでしょうし、福島高教組の先生方の各学校での教育実践のヒント、又我が組合への加入勧誘の惹句にもなるかもしれません。

私立高校授業料の實質無償化に伴う公立学校への影響を私は懸念しています。県立学校教職員の給与・労働条件（部活動を含む）や人事異動のルールの改善、また各学校での学習指導等の一層の充実によってその懸念が払拭されることを希望する者ですが、その為にも、教育はまずもって各学校、各分会の「教職員たちの心組み」が大事だとの原点に立ち、我が組合員が各学校の各学年、各組織における、いわば小「棟梁」たるべくご活躍なさることを期待いたします。

終りに、福島高教組の活動の活性化を図るべく本日参集なさった先生方、困難山積の「茨の道」ではあります、が、「使命を担う賢英」として叡智を共有し、課題解決のため共に前進なさって下さい。今大会のご盛会を衷心よりご祈念申し上げます。

令和八年六月吉日

元福島高教組執行委員長 新妻 健

福島県高等学校教職員組合 第七十九回定期大会のご盛会 誠に  
おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます

少子化による様々な教育課題を抱え教育現場は大きな変革期にあ  
ります とりわけ働き方改革の推進は 福島高教組の長年の取組に  
やっと時代が追い付いてきたようです 今こそ「是々非々」「不偏不  
党」の旗標のもと福島高教組に結集し「楽しくやりがいある職場環  
境づくり」に邁進する時です 鈴木智洋執行委員長をはじめ日頃よ  
りご尽力いただいている執行部の皆様へ感謝し 福島高教組の益々  
のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます

令和八年六月吉日

元執行委員長 厚海 肇

福島県高等学校教職員組合第79回定期大会のご盛会、心からお喜び申し上げます

今次定期大会に至る地歩に、心からの祝意と敬意を申し上げます

大震災から15年となる中、公教育は、生徒が学び育ち、教職員の働く場として、未来に向けた希望の再生と再興が求められています

教職員の対話と協働を立脚点に、あるべき処遇の確立と 高校・特別支援教育振興への邁進をご期待申し上げるとともに、執行部皆様の益々のご活躍を 心より祈念申し上げます

令和8年6月

福島県立磐城高等学校  
矢萩 滋

福島県高等学校教職員組合 第七十九回定期大会のご盛会、誠におめでとうございます

また、鈴木知洋執行委員長をはじめ、福島高教組本部・執行部の皆様方の、日ごろよりの真摯なお取組に、心より敬意を申し上げます

今般、教職調整額の段階的な引き上げや、諸手当等の改善がはかれるなど、教職員を取り巻く状況は大きな転機を迎えています

これらは、福島高教組が日高教に結集する中、長年にわたり要望してきたことであり、教職員の職務・職責、勤務実態に見合った給与体系をめざし、全国の教職員組合が、学校現場の声を発してきた成果といえます

一方、「働き方改革」が進行するなか、教員給与の見直し、勤務時間の無定量化な増大につながるものがあつてはなりません

今こそ、福島高教組に結集し、心をひとつに運動を展開していきましよう

結びに、福島高教組のますますの発展と、組合員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます

令和八年六月六日

板倉 誠実

本日の福島高教組第79回定期大会の開催を心よりお慶び申し上げます。

「不偏不党」「是々非々」を堅持する貴高教組が、次代を担う子どもたちにとって豊かな学びの環境を実現すべく、力強く熱意溢れる取り組みを重ねられていることに対し、深く敬意を表します。

現在、本県では、第7次福島県総合教育計画に基づき、「学びの変革」が推進されるなか、「学校の在り方の変革」とともに教員の資質向上が求められています。

一方、各学校で働き方改革が進められているとはいえ、困難化・複雑化した生徒・保護者対応に迫られることも増えてきており、ゆとりがない状況が続いています。そのような状況を克服するためには、「お互いが助け合う職場環境」を築いていくことが極めて重要なことと言えます。

現在進行中の教育変革が現場を支える教職員にとって、そして何より子どもたちにとって、より良いものとなること、そして働き甲斐のある職場環境づくりに向け、本定期大会が貴高教組の今後の取り組みの原動力となることを願います。

日々の高教組活動の積み重ねが、人と人をつなぎ、教職員全体の働く環境を改善し、すべては子どもたちの豊かな学びと育ちに結びついていることは間違いありません。その誇りと使命感を胸に刻まれ、今後とも「持続可能な組織づくり」を念頭に、組織の拡大強化に努めていただければ幸いに存じます。

関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表し、本定期大会のご成功と貴高教組のますますのご発展を祈念申し上げます。

令和8年6月吉日

福島県立福島商業高等学校  
渡邊 宏

福島県高等学校教職員組合 第七十九回定期大会の開催、誠におめでとうございます。

福島高教組の皆様におかれましては、日頃より福島県の高等学校教育の発展と、教職員の権利擁護にご尽力されていることと存じます。

日々、教育現場の最前線で子どもたちに寄り添い、真摯に向き合われている教職員の皆様に、心からの敬意と感謝を捧げます。

変化の激しい時代にあっても、先生方が誇りを持って輝き続けられる環境づくりに向け、本日の大会が実り多きものとなりますよう応援しております。

福島高教組の揺るぎない連帯と、今後のさらなるご躍進をお祈り申し上げます。

令和八年六月吉日

福島県高等学校教職員組合

元執行委員長 永井國之



艱難辛苦、汝を玉とす。

今こそ、福島高教組の旗を高く掲げよう。  
昔話になります。が、日高教に居た頃、茨城、  
神奈川、静岡、滋賀、福岡、大分を（艇入水に）  
回りました。20人、30人でも頑張ってる姿に涙した  
思い出があります。

みんな、がんばれ！！

令和八年五月吉日

福島高教組委員長

鈴木知洋様

志賀一成

# 祝詞

福島高教組第七十九回定期大会のご盛会誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、少子化の進行や教育現場の多忙化、社会や価値観の急速な変化など、高校教育を取り巻く状況は大きく変動しております。そうしたなかで、教育現場の声を基盤とした組合活動の果たす役割は一層重要になっております。今こそ、全ての組合員が一つとなり、生徒に豊かな学びを保障する高校教育の充実や、教職員の勤務条件改善と教育環境の向上に今後さらに前進されますことを期待しております。

本大会が実り多いものとなりますとともに、貴高教組の益々のご発展と皆様方のご健康を祈り申し上げます。

令和八年六月吉日

日本高等学校教職員組合 元中央執行委員長 大出 建隆

福島県高等学校教職員組合 第七十九回定期大会の開催、誠におめでとうございます。

福島高教組の皆様におかれましては、日頃より福島県の高等学校教育の推進と、教職員の労働環境の改善にご尽力されていること、教育現場の最前線で子どもたちに寄り添い、真摯に向き合われていることに、心から敬意を表するとともに感謝いたします。

社会は人口減少の加速や、AI・デジタル技術の急速な進展、地域間格差の拡大、国際情勢の不安定化など、多面的で深刻な課題に直面しています。そのような中でも、先生方がそれぞれの専門性を発揮し、誇りを持って輝き続けられる環境づくりに向け、本定期大会が、活発な議論と知恵を結集する場となることを期待しております。

福島高教組の揺るぎない連帯と、今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

令和八年六月吉日

福島県高等学校教職員組合 元執行副委員長

日本高等学校教職員組合 元中央執行委員長 齋藤 亮